

地域福祉情報バンク通信

発行：川崎市社会福祉協議会 ボランティア活動振興センター 地域福祉情報バンク
川崎市中原区上小田中6-22-5 川崎市総合福祉センター 6階
電話：044-739-8720 / FAX：044-739-8739 / E-mail：jyoho@csww-kawasaki.or.jp

2023年冬号の内容は…

- ★令和5年度福祉基金助成金・電話相談実務者研修について
- ★「マイノリティ」を考える図書の紹介
- ★高齢者ふれあい活動支援事業とは？
- ★新着図書&DVDの紹介



…など、今号も情報満載でお届けします！

令和5年度「福祉基金助成金」申請団体を募集します

川崎市社会福祉協議会では、互いに助け合い、支え合うことができる地域づくりを目指し活動する団体やグループを支援するため、助成事業を実施します。現在の活動をさらに発展させたい場合や、団体立ち上げのスタートアップにご活用ください。

[対象事業]

- 川崎市の地域住民のために行う事業であること
 - 実施事業が地域福祉のすそ野を広げるものであること
- 例えば、次のような活動が対象になります。

- ◆高齢者が集まる場所で、介護予防の体操を行っている
- ◆誰でも利用できる地域の居場所を運営している
- ◆障害者の理解・地域交流活動を実施している
- ◆児童、生徒の学習支援をしている 等

- ・活動をさらに発展 … **最大50万円**
(複数年度で最大100万円)
- ・スタートアップ … **最大30万円**

令和4年度助成実績

- ・申請団体数…11団体
- ・令和4年度助成金総額…2,340,475円



詳しくは「[川崎市社会福祉協議会福祉基金助成事業 令和5年度募集要項](#)」をご確認ください。
募集要項は川崎市社会福祉協議会・各区社会福祉協議会の窓口等で配布しています。
また、川崎市社会福祉協議会のホームページからもダウンロードできます。

申込締切：令和5年1月31日迄（当日消印有効）

- お問合せはこちらまで…

川崎市社会福祉協議会 ボランティア活動振興センター

Tel：044-739-8718 / E-mail：v-center@csww-kawasaki.or.jp



川崎市社協 HP
福祉基金助成金について

「電話相談実務者研修」を開催します

「聴く力を養う～電話相談の専門性～」をテーマに、電話相談実務者研修を開催します。電話相談に焦点を当てた、職員の対応技術の向上を目的とした研修で、電話相談の役割、対応の基本姿勢、相談員が苦慮しがちな電話への基本対応などについて学びます。

東京家政大学人文学部心理カウンセリング学科教授の杉山雅宏先生を講師に迎え、集合研修で行う予定です。詳しい日程は決まり次第、川崎市社会福祉協議会のホームページに掲載します。

毎年好評の研修です。ぜひご参加ください！

- お問合せはこちらまで…

川崎市社会福祉協議会 ボランティア活動振興センター 地域福祉情報バンク

Tel：044-739-8720 / E-mail：jyoho@csww-kawasaki.or.jp



市社協キャラクター
ななふく



川崎市社協 HP
福祉に関する最新のお知らせ



マイノリティとは「少数派」を意味する英単語が由来です。日本では「社会的な弱者」というニュアンスを含むことも多く、「社会的少数者」と捉えられ差別や偏見の対象になることもあります。そのような差別や偏見を無くすためには、多くの人々がマイノリティについての正しい知識を身につけ、理解を深めることが大切です。

今号では、マイノリティであることを「弱さ」とせず、逆にそれを「強み」とするためにはどうしたら良いのかを考える本をご紹介します。今までの価値観が変わるきっかけになるかもしれません。ぜひ一読ください。

マイノリティデザイン

弱さを生かせる社会をつくろう

すべての弱さは社会の伸びしろ。マイノリティ性(苦手、できないこと、障害、コンプレックス)は、克服しなければならないものではなく、生かせるもの。弱さを受け入れ、社会に投じ、だれかの強さと組み合わせる。これがマイノリティデザインの考え方。

(澤田智洋:著/ライツ社/
2021年発行)



バリアバリュー 障害を価値に変える

「障害は人ではなく、環境にある」この小さな気づきが、4000万人市場をもたらした。急成長のユニバーサルデザインを牽引するベンチャー起業家が、その劇的な半生と、斬新なビジネスモデルを生み出した「反転戦略」を明かす。

(垣内俊哉:著/新潮社/
2016年発行)



障害者ってだれのこと?

「わからない」からはじめよう

「障害者」とはだれのことか。「障害」とはなにか。わかるようでわからない問題を、いろいろなアプローチでそもそも論から考えます。中学生の質問箱シリーズ第18弾。

(荒井裕樹:著/平凡社/
2022年発行)



ミライの武器

「夢中になれる」を見つける授業

著者は分身ロボット「OriHime」の開発者。長い不登校生活からはじまり“自己肯定感ゼロ”だった自分の過去をベースに、みんなが「夢中になれることを見つけ、楽しく生きていく方法」をやさしく解説。

(吉藤オリィ:著/サンクチュアリ出版/2021年発行)



自分の強みの見つけ方

10歳から知りたいバリアバリュー思考

多様性の時代、「人と違う」はダメじゃない! バリア(弱点)と思われがちな特性をバリュー(自分だけの価値)にするために必要な考え方が、漫画とイラストで学べる本。

(垣内俊哉:著/
KADOKAWA/
2022年発行)



トコトンやさしい

ユニバーサルデザインの本 第3版

ユニバーサルデザイン(UD)の知識が楽しく理解できる一冊。UDを実現する上で、直面する困難をどう解決していくかというのをベースに、正しい理解と豊富な事例を紹介。

(宮入賢一郎・実利用者研究機構:著/日刊工業新聞社/
2022年発行)





高齢者ふれあい活動支援事業とは？



川崎市社会福祉協議会では、高齢者の生活を支える仕組み作りの一つとして、高齢者ふれあい活動支援事業を行っています。昭和58年当初は14団体でしたが、活動の発展や高齢者の増加に伴い、現在は122団体が川崎市の補助金を受けつつ活動を続けています。

10月28日に、川崎市総合自治会館にて「高齢者ふれあい活動実施団体交流会」を行い「高齢者がコロナ禍でも安心してできるレクリエーションとその効果について」の講話がありました。



団体交流会の様子

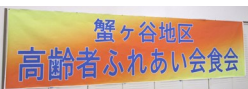
参加者からは「会食会などで役立つ内容だった」「ぜひやってみよう」と好評でした。

アンケートには、コロナ禍で活動することへの悩みや課題などに多くの回答があり、皆さん工夫しながら活動を続けていることがわかりました。

今号では、コロナ禍でいろいろな制限がある中でも積極的に活動をしている団体の一つである、「蟹ヶ谷地区高齢者ひとりぐらしふれあい会食会」の活動をご紹介します。

高齢者ふれあい活動の目的

- ① 高齢者の自立生活の支援
- ② 社会的孤立感の解消
- ③ 心身機能低下予防
- ④ 地域におけるボランティア活動の推進
- ⑤ 地域全体で高齢者の生活を支える仕組み作り



蟹ヶ谷地区高齢者ひとりぐらしふれあい会食会の活動

ふれあい会食会の活動とは…

民生委員が中心となり、ボランティア活動団体「ボランティア絆」を立ち上げ、20年以上前から地域で活動をしてきました。

「高齢者ひとりぐらしふれあい会食会」は、8年前に開始。責任者の田村さんを中心に、「みんな楽しく、仲良く、生き抜きましょう！」をモットーに、毎月第4木曜日に開催しています。

コロナ禍で会食ができなくなり、現在はお弁当を持ち帰るスタイルになってしまいましたが、毎回参加者に喜んでもらえるようなイベントを準備しています。

この日は、同じ高津区のボランティアさんによる南京玉すだれとマジックが披露されました。



手拍子と掛け声で応援



マジックに参加

ボランティアスタッフの皆さんにお話を伺いました



責任者の田村さん

地域とのつながりを大切に…

月1回の活動ですが、地域の皆さんが集まって会話が出来る貴重な時間になっています。先月と様子が違う参加者はいないかとスタッフで気をつけ、何か問題があれば地域包括支援センターにつなぐこともあります。

区役所・包括・近隣施設・社協などの職員も参加して皆さんに役立つ情報を伝えています。この日は、インフルエンザワクチンの無料接種についてや、災害への日頃の備えについての話などがありました。



お役立ち情報を真剣に聞く皆さん

活動を続けていくために…

コロナ禍で、いろいろなことができなくなり、この活動をやめようと思ったこともあります。でも、やめるのは簡単なので、どう続けていくのかを考えることが大事だと思っています。「次は〇〇をやりたい」「こうしたらできるのではないか」というアイディアを出し合い、スタッフで話し合っています。

以前のように、食事を作り楽しく食べることができるようになることがみんなの願いです。

地域でのつながり作りや孤立防止のための役割を果たす活動として、これからも頑張っていると思っています。



ボランティアスタッフの皆さん

「ふれあい会食会」のやりがいは…

ボランティアとして参加するには、大変なことも多くありますが、「ありがとう」と言ってもらえることが嬉しくて続いています。

自分が元気なうちは誰かの役に立ちたいと思っています。また、楽しみに待っていてくれる人がいることで、自分の生きがいにもなっています。



プレゼントのお米や野菜



お弁当を渡しながら声掛けを



新着図書&DVDの紹介

蔵書検索は「ふくみみ」で！
http://k-fukumimi.com/



【図書】（書名／著者・編者名／出版社）

- 私だけ年を取ってるみたいだ。ヤングケアラーの再生日記
／水谷緑／文藝春秋
- with you（文庫版）／濱野京子／講談社
- 死にそうだけど生きてます／ヒオカ／CCCメディアハウス
- わたし生活保護を受けられますか／三木ひとみ／ペンコム
- 誰も断らない こちら神奈川県座間市生活援護課／篠原匡
／朝日新聞出版
- マンガでわかる！ 認知症の人が見ている世界2／川畑智・
遠藤英俊（監修）／文響社
- 老〜い、どん！ あなたにも「ヨタヘ口期」がやってくる
／樋口恵子／婦人之友社
- どっこい生きてる90歳 老〜い、どん！②／
樋口恵子／婦人之友社
- シンクロと自由／村瀬孝生／文響社
- 認知症の私から見える社会／丹野智文／講談社
- 認知症でも心は豊かに生きている／長谷川和夫／
中央法規出版
- たづちゃんノート 交換ノートなら認知症の親との関係は
うまくいく！／新美千恵子／明日香出版社
- 社会的孤立死する高齢者たち／新井康友・松田尚子・
渡辺慎介・吉川順子・石田史樹／日本機関紙出版センター
- 子どものための居場所論／阿比留久美／かもがわ出版
- My Voice, My Life 社会的養護当事者の語り／月刊福祉
「My Voice, My Life」企画委員会／全国社会福祉協議会
- 発達障害の人が見ている世界／岩瀬利郎／アスコム
- 私の夫は発達障害？ カサンドラな妻たちが本当の幸せを
つかむ方法／真行結子・柏淳（監修）／すばる舎
- 民生委員のための高齢者支援ハンドブック／
小林雅彦／中央法規出版



- 市民による訪問型生活支援サービス 有償ボランティアで
取り組む人に／齊藤紀子・清水さえ子・小林静子（監修）
／学事出版
- 援助の原点 あるソーシャルワーカーの軌跡／
吉岡隆／中央法規出版
- 対人援助のスキル図鑑／大谷佳子／中央法規出版
- 世界一やさしい依存症入門／松本俊彦／河出書房新社
- 聞く技術 聞いてもらう技術／東畑開人／筑摩書房
- 支援のための認知行動療法／福井至・貝谷久宣（監修）／
ナツメ社
- これからの時代を生きるあなたへ 安心して弱者になれる
社会をつくりたい／上野千鶴子／主婦の友社
- わたしからはじまる 悲しみを物語るということ／入江杏／
小学館
- ヒトの壁／養老孟司／新潮社
- 幸せな孤独 「幸福学博士」が教える「孤独」
を幸せに変える方法／前野隆司／アスコム
- 老害の人／内館牧子／講談社



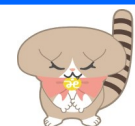
【DVD】（題名／制作・販売／仕様）

- 相談援助 第2巻 ストレングスモデル／アローウィン／
29分
- 自分らしく地域でくらす（2枚組）／パンジーメディア／
67分

～ 福祉系マンガの続編が入りました ～

- ころこのナース夜野さん（6）
- ムーちゃんと手をつないで（6）
- 19番目のカルテ 徳重晃の問診（6）
- リエゾン こどものこころ診療所（10）
- 新・ちいさいひと 青葉児童相談所物語

地域福祉情報バンクは、平日8：30～17：00まで開所しております。毎月第4水曜日は、川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）の保守点検日のため、17：00以降に1階受付窓口での図書・DVDの返却ができませんのでご注意ください。



友だち募集中！

川崎市社会福祉協議会LINE公式
アカウントでは、イベントのお知らせや川崎市
社協の活動を発信。市民の皆様に役立つ情報を
お届けします！川崎市社協オリジナル
キャラクター「ななふく」のLINE
スタンプも販売中！



2023年も新しい本との出会いを楽しみに、皆さんにも興
味を持っていただけるものを紹介していきたいと思ひます。
今年もどうぞよろしくお願いいたします。（ま）

「地域福祉情報バンク通信」についてのご意見・ご感想など
を是非お寄せください。次号は4月1日発行予定です。

E-mail：jyoho@csww-kawasaki.or.jp

電話：044-739-8720 / FAX：044-739-8739

